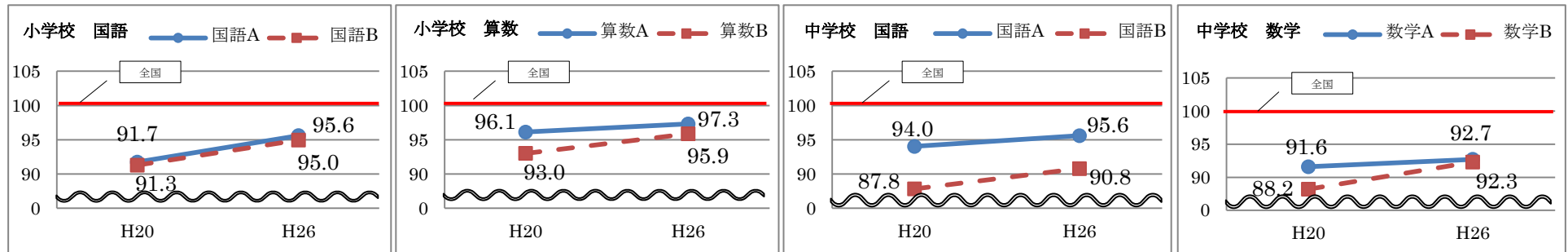


## [子どもの状況]

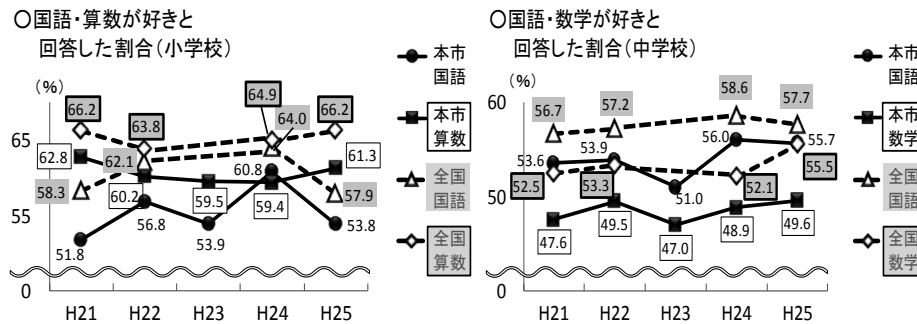
本市の児童生徒の学力の状況は、これまでの学力向上策が一定の効果を発揮した結果、全国平均と本市平均の差は徐々に縮まっているものの、その差は依然として大きく、諸施策を一体的かつ継続的に実施していく必要がある。

### 全国学力・学習状況調査の平均正答率の比較 (グラフは、全国平均を100としたときの本市平均の数値)



本市の児童生徒は学習意欲の向上や授業規律の確保に課題が見られ、学力向上を図るうえで支障となっている。また、中学校の暴力行為や不登校等の問題行動の状況は全国平均を大きく上回っており、学習環境の改善が喫緊の課題となっている。

### 学習意欲の状況

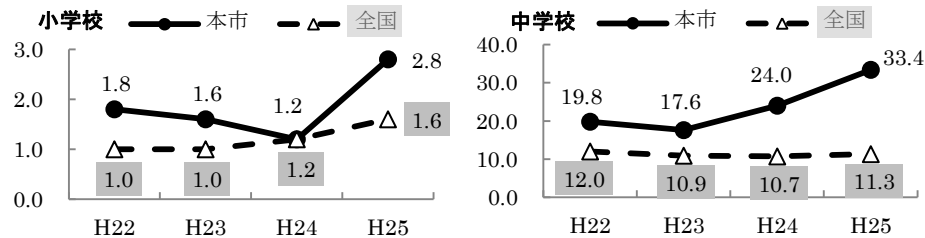


### 授業規律の確保

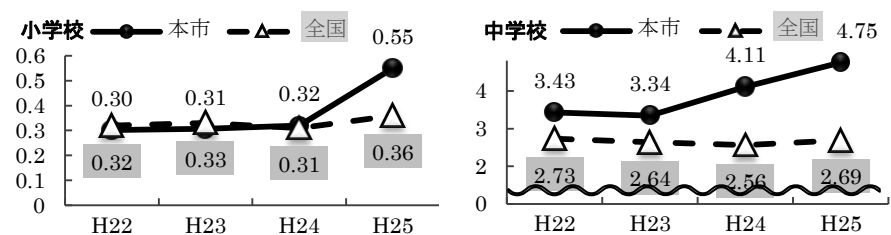
○中3の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

	そのとおりだと思う	どちらかといえば、 そう思う。	どちらかといえば、 そう思わない。	そう思わない。
本市	21.6%	60.4%	25.4%	0%
全国平均	46.1%	46.6%	6.7%	0.5%

### 暴力行為の件数の比較 (1000人当たりの年間発生件数)



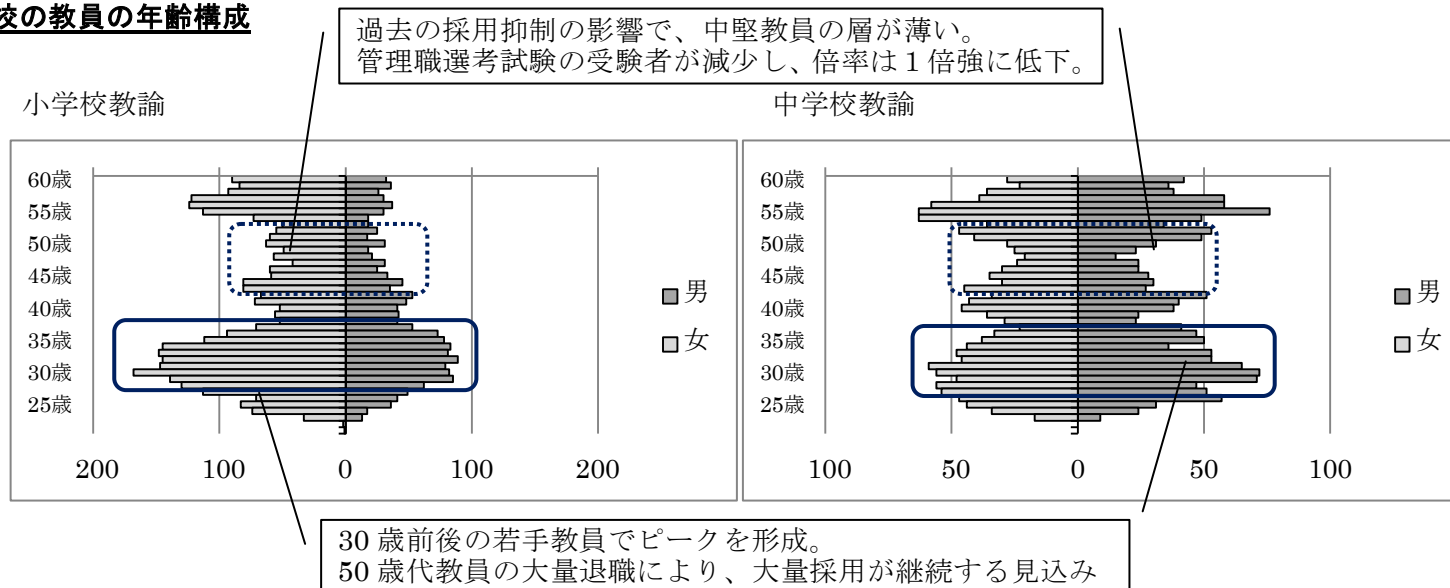
### 不登校の割合の比較 (%)



## [教職員を取り巻く環境の変化]

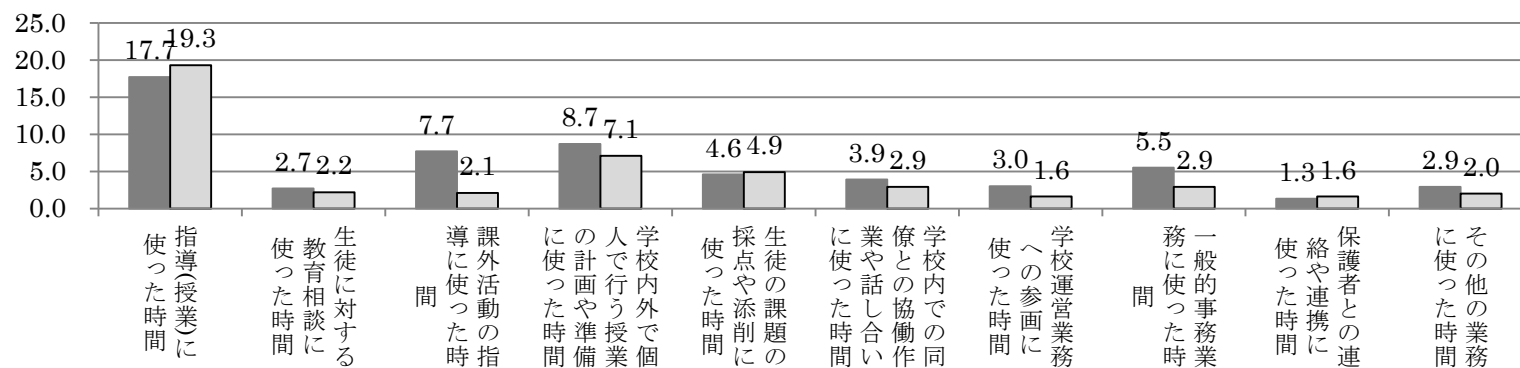
過去の採用抑制と近年の大量退職・大量採用の結果、経験豊富な教員から若手教員への指導技術の継承や、学校運営の核となる管理職の確保と管理職を補佐する体制の確立が喫緊の課題である。

### 本市立小・中学校の教員の年齢構成



国際比較において、我が国の教員の1週間当たりの勤務時間は最長であり、課外活動（スポーツ・文化活動）の指導や学校運営・一般事務などの校務が長いことから、校務の効率化や専門家による支援を必要としている。

### 教員の仕事の時間配分 (2013年 OECD 国際教員指導環境調査 参加数：34か国・地域、対象：前期中等教育段階（日本は中学校）)

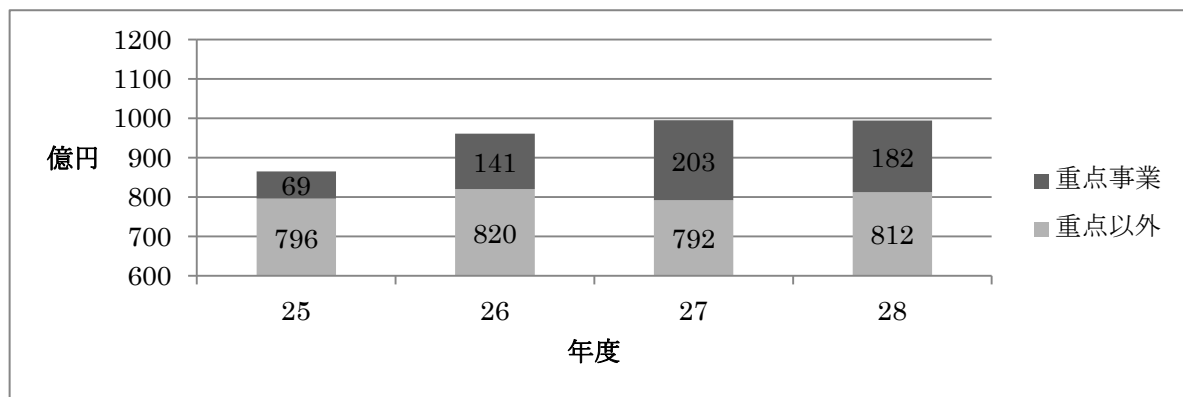


**仕事時間の合計**  
 日本 53.9 時間  
 OECD 加盟国平均 38.3 時間

## [厳しい財政状況]

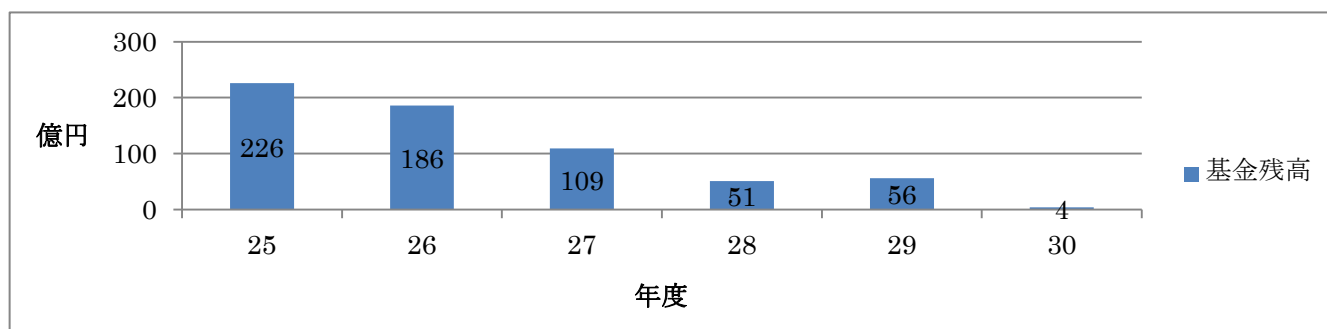
教育分野における重点施策を強力に推進してきた結果、教育環境は充実した反面、経常的経費の増嵩を招くなど、教育費予算は当面増加するとともに、その後も高水準で推移する見込みである。

### 教育費予算の将来推計



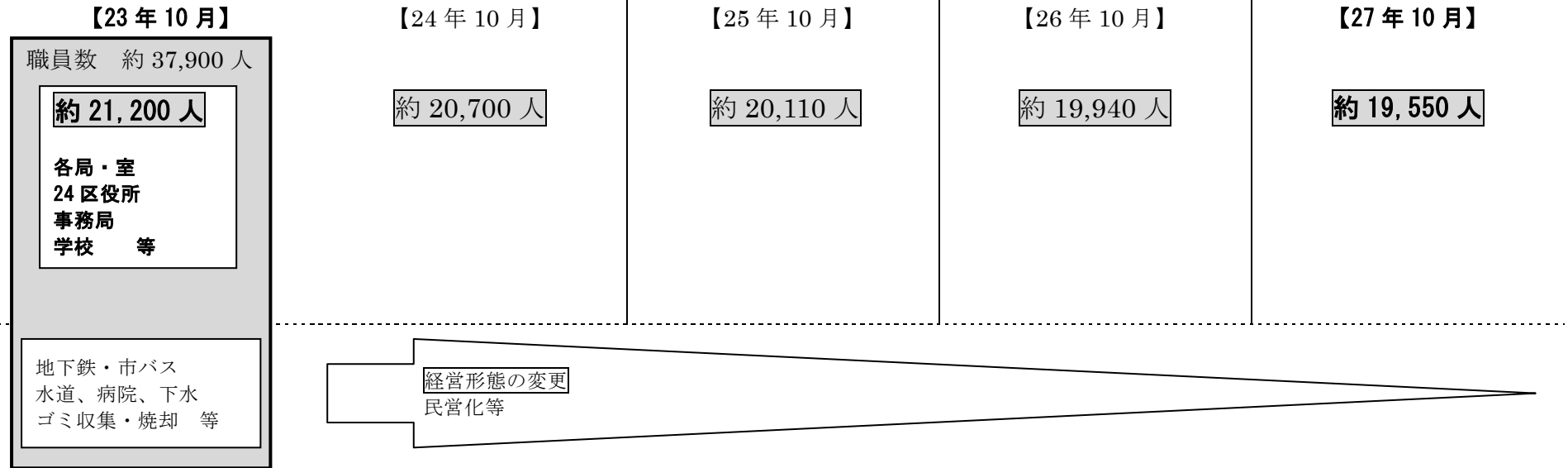
重点施策の財源は、施策・事業の見直し等による削減効果の活用や大阪市教育振興基金からの充当により賄ってきたが、基金は新たな繰入が見込めず減少の一途であり、基金に依存した予算編成から脱却する必要に迫られている。

### 大阪市教育振興基金の残高



本市では、23年10月から27年10月までで職員数の削減を進めており、今後とも、より効果的・効率的な組織マネジメントに取り組んでいくことが求められている。

**将来人員の見通し**



【23年5月】  
教育委員会事務局  
450 人  
学校園（市費）  
3,919 人

3年間で計 362 人の減少

【26年5月】

595 人  
3,412 人

26年4月に学校籍の指導主事、  
学校事務職員等 212 人を教育委  
員会事務局籍に転籍

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
制度改革 教育行政の	<p>大阪市教育行政基本条例(H24.5 制定)</p> <p>大阪市立学校活性化条例(H24.7 制定)</p>	<p>大阪市教育振興基本計画(H25.4～)</p>	
マネジメントの制度改革 学校のガバナンス・		<p>保護者や地域住民の意向をくみ取り、学校を活性化するための制度の構築</p> <p>学校協議会の設置(H25.2～)</p>	<p>学校選択制の導入(H26.4～)</p>
		<p>学校の組織マネジメント体制の総合的な改革</p> <p>校長公募の実施(H25.4～)</p>	
		<p>副校長のモデル配置</p>	
		<p>予算・人事の校長裁量の強化(校長経営戦略予算・教員公募制等)</p>	
カリキュラムのイノベーション		<p>優れたモデルの開発・展開</p> <p>学校教育へのICT活用(モデル校での実証研究)</p> <p>小学校1年生からの英語教育(重点校での実証研究)</p> <p>幼稚園・保育所に共通の就学前教育カリキュラムの作成</p>	<p>全市展開</p>
	<p>教育環境の充実</p>	<p>中学校の普通教室に空調機を段階的に設置</p> <p>中学校給食の順次導入(家庭弁当との選択制)</p>	<p>小学校の普通教室に空調機を段階的に設置</p> <p>中学校給食の拡充(全員喫食を順次導入)</p>
		<p>教員個人やグループの主体的な研究活動の支援</p> <p>校務の効率化に向けたICT活用(試験導入)</p>	<p>全稼働</p> <p>学習サポーター・生活指導支援員の配置</p>